

■平成26年度 第3回「船坂まちづくり塾」の結果をお知らせします

第3回 船坂まちづくり塾の内容

1. 船坂の解決すべき問題点を整理
2. 問題解決アイデアを考えよう

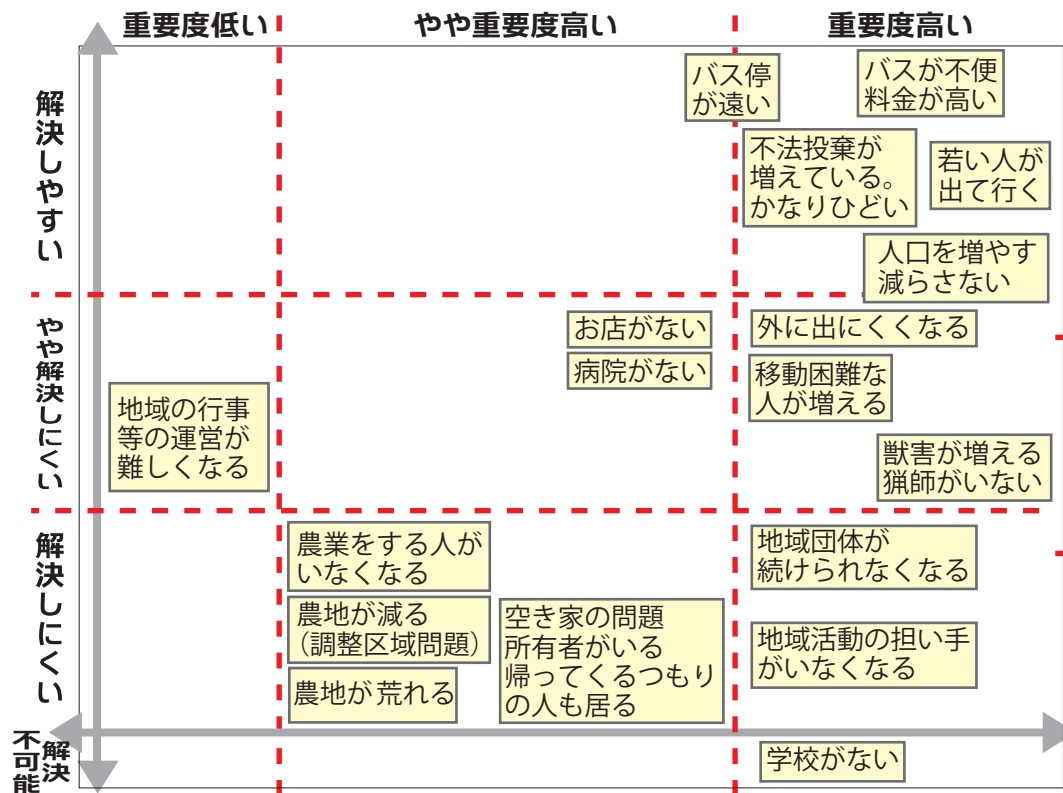
去る平成27年3月21日（土）午前10時より船坂公会堂で、第3回「船坂まちづくり塾」を開催しました。当日は船坂地区住民15名の参加がありました。

今回は船坂に起こりうる問題点の重要度、解決のしやすさを考え、それらを解決するためのアイデアを出していただきました。その結果、皆さんが取組みたい課題がいくつか見付き、それらに取り組みながら今後もまちづくりを進めていくという話になりました。

1. 船坂の解決すべき問題点を整理

●船坂の問題点をグラフにして整理

船坂に起こりうる問題を「解決のしやすさ」と「重要性」でグラフにして整理しました。



[皆さんのご意見]

農業・農地について

- ・農地法や市街化調整区域など法的な制約がある。
- ・農業をしたい人に貸せるようにする方法を考える。市民農園など。

空き家について

- ・個人の財産なので勝手に対策できない。船坂で倒壊しそうな空き家があるかどうかによる。
- ・空き家の数など状況を知っておくことが重要。
- ・他人に迷惑をかけそうな空き家は行政が指導できる法律ができた。

地域活動・団体について

- ・解決しにくい。今すぐの問題ではない。

獣害について

- ・一番深刻な問題かも(イノシシ、アライグマ、カラス、ヒヨドリ等)
- ・対策にお金がかかって、野菜を買った方が安い。

不法投棄について

- ・川に冷蔵庫、洗濯機等を捨てられる。
- ・地域で解決しようと思えることが大事。
- ・市や県の協力も必要。

人口減少について

- ・重要度は高い。地域を維持できるように。
- ・今住んでいる人の子どもを呼ぶ。地域内に住めるようにする。(市街化調整区域問題)

移動困難な人が増えることについて

- ・(人付き合いが減り)孤独死の原因になり得る。

2. 問題解決のアイデアを考えよう

●整理した問題点について解決のアイデアを考えました

解決したい問題点をどうやったら解決できるか、船坂の資源や魅力を使って問題を解決するためのアイデアを書いてもらいました。全員のアイデアを見て、良いと思うものに投票してもらいました。

問題点	解決のテーマ	活かせる資源・魅力	解決のアイデア	票数
生活が不便になる 移動困難な人が 増える	移動手段を確保 生活不便を解消する	山口町の入り口 (北部と南部の結節点)	コミュニティバスの運行、低運賃。 義務教育期間の交通費無料化。	7
			さくらやまなみバスの運行系統や 料金体系の検討。	5
農業問題 農地が荒れる	担い手の確保、農業の 魅力の発掘とアピール	地消対策を検討	若い世代が参加、住民が一丸の取 り組み。貸し主による農業指導。	4
獣害が増える	里山・竹林を適正に 管理する	自然が豊か	農会を主体に管理する。	4
	農地が荒れるのを防ぐ	山口町の入り口	経験豊富な人材を投入。	4
地域が荒れて見える 見た目が悪くなる 不法投棄が増える	農業を活性化する	農業ができる、農地がある	農地をグループで管理する。	4
	空き家を活用する	都会に近い田舎	空き家を貸し出す	4
	船坂を訪れる人 を増やす	のどかで静かな環境、ホテル 赤トンボ、山桜、川、滝、茅葺 古民家	世代・趣味別のイベントを定期的 に行う。	2
行事運営の困難 担い手・人口減	船坂に引っ越して 来る人を増やす	子育てに良い環境	「船坂で子育てするとよい子が育 つ」と宣伝する。	2
	地域活動を継続する		運営する人の確保、村外で働く人 や船坂に住む親への意識づけ。	1
	空き家を減らす	山口町の入り口 空き家・空き地がある	市で空き家活用窓口を作って提供。 子育て環境を整える。	1
	若い世代に移住して もらう、増やす	自然、農地、コミュニティ、 田園風景、都会に近い田舎、 自然体験ができる	船坂地域の積極的 PR。可能居住 地 PR、誘致活動、農業問題整理。	2
		ビエンナーレ、古い家、 自然、農、すてきな先輩住人 苦楽園まで車で 20 分	移住したら声をかける、芸術の文 化を広げる、船坂をネットで発信 子どもに帰って来てもらうよう に話す、農業指導。農作物の販売。	2

■今回のまとめと今後について

まちづくりビジョンとアイデア実現の必要性：

今回は、現在予測される船坂の問題点を解決するためのアイデアを皆さんと考えてみた。今後は船坂の将来のあるべき姿(ビジョン)を皆で検討し、それを実現することを目標にして、もう一度問題や課題解決のアイデアと取組み方法を考えてみたい。

そうすることで、問題点のグラフ上の位置(重要度)も整理できて、まちづくりのどのような取り組みをどのようなステップで行っていくべきかということが見えてくるのではないかと思う。

また、ビジョンや計画づくりの話合いだけでは、まちづくりの進展の実感が得られにくいし、楽しくないかもしれない。今日皆さんから出てきたアイデアをもう少し練り上げて、できることから実際に取組んでいければ良いと考えている。

ビジョンづくりや、アイデア実現のための主体が必要：

すぐに組織化する必要はないかも知れないが、まちづくり活動を推進するための組織を考える必要がある。例えば自治会の中にまちづくりの部会などを作るという方法がある。主体がはっきりすれば、市役所も活動のニュース等をプリントするくらいの補助金は出してくれる。いずれにしても、できるだけたくさんの方が関わるような組織にしていく必要がある。



次回は今後の船坂のまちづくりについて検討します

組織づくり・今後の進め方、ビジョンの描き方、ビジョンの具体的な内容を考えてみましょう。



2015年5月頃開催予定(詳細は別途お知らせします)